

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-129580(P2014-129580A)

【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-037

【出願番号】特願2012-288705(P2012-288705)

【国際特許分類】

C 2 2 C	9/00	(2006.01)
C 2 2 C	9/01	(2006.01)
C 2 2 C	9/05	(2006.01)
B 2 2 D	11/00	(2006.01)
C 2 3 C	14/34	(2006.01)
C 2 2 F	1/08	(2006.01)
C 2 2 F	1/00	(2006.01)

【F I】

C 2 2 C	9/00	
C 2 2 C	9/01	
C 2 2 C	9/05	
B 2 2 D	11/00	F
C 2 3 C	14/34	A
C 2 2 F	1/08	A
C 2 2 F	1/00	6 0 4
C 2 2 F	1/00	6 1 3
C 2 2 F	1/00	6 2 3
C 2 2 F	1/00	6 6 0 Z
C 2 2 F	1/00	6 6 1 Z
C 2 2 F	1/00	6 8 1
C 2 2 F	1/00	6 8 2
C 2 2 F	1/00	6 8 3
C 2 2 F	1/00	6 9 1 B
C 2 2 F	1/00	6 9 1 C
C 2 2 F	1/00	6 9 4 A
C 2 2 F	1/00	6 9 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月15日(2015.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

C_aを0.5～1.0%原子%含有し、残部がCuおよび不可避的不純物よりなる銅合金からなり、かつCu素地中のCu相結晶粒の平均粒径が、5～60μmの範囲内にあり、さらにCu-C_a系晶出物が分散していることを特徴とするスパッタリングターゲット用銅合金製熱間圧延板。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

したがって本発明の基本的な態様（第1の態様）によるスパッタリングターゲット用銅合金製熱間圧延板は、Caを0.5～10.0原子%含有し、残部がCuおよび不可避的不純物よりなる銅合金からなり、かつCu素地中のCu相結晶粒の平均粒径が、5～60μmの範囲内にあり、さらにCu-Ca系晶出物が分散していることを特徴としている。なお、この明細書では、連続鋳造法には、半連続鋳造法および完全連続鋳造法を含むものとして記載する。